

地域の特色を生かした農業等の取り組みを学ぶ

～ 農地部会 移動部会を開催 ～

鶴岡市農業委員会では、管轄する農地が広範囲であるため、旧東田川郡を管轄する東部農地部会と、旧鶴岡市・旧西田川郡を管轄する西部農地部会を設置しており、それぞれ農地法及びその他の法令に基づく権利移動などについて審議を行っています。

移動部会は、広域に渡る鶴岡市の地域特性・魅力・先進事例を学ぶため、委員が各地域を訪問し、意見交換や情報の共有を行う活動です。

東部農地部会

〔直播栽培研修と「雪若丸」ほ場を視察〕

東部農地部会（藤島、羽黒、榊引、朝日地域の委員17人）の移動部会は、6月9日に藤島地域にて開催されました。

初めに視察したのは、山形県

庄内総合支庁農業技術普及課

「大区画ほ場における鉄コ
ーティング直播栽培の実証実
験」について、実際に鶴岡市
内で行われている、鉄でコー
ティングされた種子を大区画
ほ場に直播きした様子をスラ
イド等で説明を受けました。

委員からは省力化の程度や反
収の見込みなど、多くの質問
が出されました。

続いては、山形県水田農業
試験場にて、平成30年にデビ
ュー予定の、米の新品種『雪
若丸（山形112号）』につ
いて研修。

「つや姫」の生まれ故郷で
ある藤島のこの地で新品種の
「雪若丸」の実証が行われて
います。その特性は耐倒伏で
直播適正やいもち病、耐冷、

耐高温にも優れているほか、
食味では白く光沢があり食味
に優れ、しつかりとした粒感
と粘りがある食感、高温登熟
下での味の低下が少ないな
ど優秀な米であることの説明
があり、実証ほ場の見学もで
きました。

この「雪若丸」が「つや姫」
とともに本県の二大ブランド
となることに期待を持つこと
ができる研修となりました。
（農業委員 伊藤由紀子）



西部農地部会

〔地元農業法人の講演会〕

西部農地部会（鶴岡、温海

地域の委員15人）の移動部会
は、7月7日に温海地域で行
われました。

部会での審議等の終了後に
「農事組合法人かすみ」の理
事である五十嵐勇一氏をお招
きし、講演をしていただきま
した。

「農事組合法人かすみ」は
市内の一霞集落（温海地域）
に平成28年1月に設立された
法人ですが、研修会や集落内
での説明会などで集落内の合
意を進めるため、平成26年2
月から約2年の月日を要して
設立にこぎつけたそうです。

法人化に至った一番の理由
は、「限界集落にはなりたく
ない。」との思いが集落内の
共通意識にあり、集落が一つ
になり同じ方向を向くために
は何かできるかを皆で考えた
末の結果でした。

一霞には特産である「温海
かぶ」と山菜やきれいな水な
ど豊かな山の資源があること
に目を付けたのです。山をこ
れまで以上に活かし、赤かぶ、
山菜の収穫を増やすとともに
農地の集約化と省力化を進め、

所得の向上により若い人たち
も住み続けられる集落を目指
そうとしています。

まだまだ課題もたくさんあ
るとのことでしたが、特産物
を活かして地域が盛り上がり、
収入も得られて人口増加に繋
げられれば限界集落からの脱
却成功です。

一霞集落の例は鶴岡市全域
の集落にも当てはまることで
しょう。貴重な体験談を伺う
ことができ、とても良い刺激
となった研修でした。
（農業委員 小南美弥子）

